

平成二十九年  
名寄市立大学 保健福祉学部  
一般入試 前期日程

小 論 文 問 題

試験時間 一〇時〇〇分～一一時三〇分（九〇分）

\*受験上の注意

- ① 指示があるまで開いてはいけない。
- ② 指示に従って、静粛に行動すること。
- ③ 机上には、受験票、筆記用具、消しゴム、鉛筆削り、時計、眼鏡、目薬、ティッシュペーパー以外、不要なものは置かないこと。
- ④ 質問、用便その他、特に必要のある場合は黙って手を挙げ、指示を求めること。
- ⑤ 不正を行ったものは試験を中止し、以後の受験資格を失うものとする。

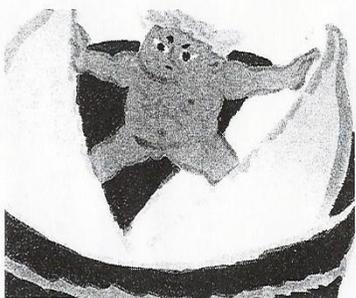
次の文を読み、あとの問に答えなさい。

ここに二枚の絵があります。見ておわかりのとおり、日本の昔話「ももたろう」の絵本の一場面。ももたろうが桃から生まれた瞬間を描いたものです。

授業で学生たちにこの絵を見せ、どちらが好きかときくと、九割以上、つまりほとんどの学生がAと答えます。「かわいい」というのです。二〇〇八、〇九年になると、赤羽末吉の描く「ももたろう」は「気持ちが悪い」という学生まで現れるよう



『ももたろう』A(文不詳/岩崎良信, 絵/小学館育児絵本)



『ももたろう』B(松居直, 文/赤羽末吉, 画/福音館書店)

になりまし。このどが気持ち悪いか、私は少しつこんできいてみました。はつきりした答えは得られませんでした。推し量るところ、あまりにリアルで、生理的に嫌悪感を覚えるところらしい。「でも、こんな人形のような赤ちゃんはいないでしょ？」

と言うと、「だげど……」と不服そうでした。

(中略)

Aがかわいくて好きという学生たちに、私はさらにききました。

「私もつい、かわいいと思ってしまうのだけれど、でも、なぜそう思うのだろう？」

学生たちは答えません。

「かわいいはかわいいじゃん。それになんのわけがあるの？」

と言いたそうな顔をしています。しばらく待って、私は問いかけました。

「この二人の赤ちゃんを膝にだっこするとして、どちらの赤ちゃんが先にむずかりだすかしら？ どちらの赤ちゃんが先に膝から出ようとするかしら？」

学生たちはようやく気付き始めます。かわいいももたろうはいつまでも大人の膝におとなしく抱っこされているだろう赤ちゃんであることに。

私は、ここまできると、よく授業を脱線しました。さらにもう少し「カワイイ」の意味を学生たちといっしょに考えたくなってしまうのです。

「私は“かわいいおばあちゃん”になんかなりたくないと思っっているわ」

いつか学生たちの母親の年齢を過ぎ、そろそろ祖母の年齢に達した私は言ったものです。

「“かわいいおばあちゃん”ってなあに？ 誰がなるもんですか」

学生たちはちよつとびつくりした顔をします。私は続けました。

「あなたたちはカワイイ女の子が好きなのよね」

私は挑発にかかります。

「カワイイ女の子でありたい」「カワイイ女の子になりたい」と思っている。そうじゃない？ だらデートするときも、本当は自分たちがおかれている状況や、これからどう生きていいかといったことを話したくても、そんなこと話したら生意気、って思われるからと自分の本当の思いはひっこめて、食べものやファッションのこと、話してる。相手の男の子も、本当は今の世界の動きや政治のこと、これからの人生について等いつばい話したいのに、そんなこと話したら、暗いやつ、うつとうしいやつ、重いやつと思われそうだからって、断片的な街の情報ばかりを口に出している。そうやってお互い牽制けんせいしながら、お手々つないでずぶずぶいっしょに墮おちていくんだ。まあ、墮ちていきたい人は墮ちていけばいいけどね」私は続けます。

「でも、これから生きてどうとする子ども、自分の足で立とうとする子どもを“カワイイ”にとじこめる権利は私にもあなたたちにもないはず。「ももたろう」はいつまでもお母さんの膝にのっついてはいけない。いつかお母さんの腕を押しつけて広い世界に出て行かなくてはならないし、(中略)」

「「まできてやつと学生たちは「そうかあ」とわかった顔を始めます。それでも「カワイイ」はいつこうに消えてゆく気配はありません。」

(中略)

大人にとつて、子どもがAの「ももたろう」のようであつてくれたら、どんなにらくでしょう。そんな子どもと向き合う大人の地位はどこまでも安泰で、おびやかされることはありません。問いを突きつけられることもなく、したがって自らを変革する必要もありません。力ある者はその力による支配を脅かされる心配のないものを「カワイイ」と呼ぶのではないでしょうか。

美術にしても音楽にしても、こちらにぐらぐらと揺さぶりをかけてくるものに対して、私たちは「カワイイ」などのんきなことを言っていられるものでしょうか。囲い込もうにも、こちらの囲いを破つて出て行こうとするものを私たちは「カワイイ」とはまず言いません。

(「大人になるっておもしろい?」 清水真砂子著 岩波書店 二〇一五年より)

問 著者が言うような、理由を深く考えずに「カワイイ」の一言で、価値や優劣、好みを判断してしまふ若者の風潮について、あなたが考えることを八百字以上千字以内で述べなさい。